

2014年7月4日（金）

ほしざらサロン 2014年6月議事録

文責：竹原明理

日 時： 2014年6月28日（土）19:00～22:00

場 所： プラネタリウム事務所

参加者： 篠原、角、山田（明）、與古光

※山田（明）さんは20時30分頃からの参加

（50音順、敬称略）

職 員： 小野田、角田、竹原

（計7名）

1. 7月5日（土）のほしざらウォッキングについて

7月5日（土）に予定されている、今年度2回目のほしざらウォッキングについて、打ち合わせを行いました。この日のリーダーは山田（明）さん、ライブ解説は近藤さんで、観望対象は月・土星・火星です。いつものように、ウォッキング資料として、当日の星図を用意する予定です。

当日のスケジュール（晴天の場合）は以下の通りです。

18時前 プラネタリウムに集合

18時～ 近藤さんのライブを全員で視聴

→5分ほどミーティング

18時30分～ 望遠鏡組み立て

~~~~~

19時30分～ プラネタリウムでの近藤さんライブ開始（約30分）

20時～ アクアドーム前広場にて観望会（21時頃までの予定）

21時過ぎ～ あとかたづけ&反省会

観望会は、月→火星→土星の順に観る予定です。望遠鏡は4台(+ $\alpha$ )使用し、フォーライク式で回していきます。18時30分から望遠鏡を組み立て始めます。19時30分頃の段階で、月以外は見えないと思われる所以、まずは月をじっくり観察します。「アペニン山脈」や「アルキメデス」、隠れミッキーなどのクレーターを探す予定です。その次の火星については、「赤い星」ということを認識してもらえばいいと思います。

20時30分頃になると土星が見えるようになってくるので、月と火星を観ている間に準備をしておきます。特に今回は、ミード(28cm)とタカハシ(10cm)で、衛星のタイタンも観たいと思います。望遠鏡、スタンプ、誘導などの各担当は以下の予定で、後日掲示板に発表されます。なお、2回回しになった時の段取りについては、当日の検討が必要と思われます。

ミード(土星と衛星)：篠原さん

タカハシ(土星本体)：與古光さん

ビクセン(月と火星)：角さんとどなたかもう一人

場内整理・スタンプ：平野さん、山本さん

(2回回しになった場合の誘導)：竹原

雨天の場合は、プラネタリウムの解説と、室内でiPadを利用した疑似観望会を行う予定です。ビクセンの8cmで、iPadに映った土星の画像を覗いてみます。また、望遠鏡そのものの構造に興味がある人もいるので、たとえばミード(セレストロン?)の25cm(?)を組み立ての段階から見せてはどうかという意見も出ました<sup>1</sup>。

最後に、近藤さんの解説では以下のようなことを話す予定です。

- ・満月よりも半月の方がクレーター(「アペニン山脈」など)が際立つ
- ・火星がアンタレスに近づいていく様子を9月頃まで日付を進めて見せる
- ・雨天の場合は北極星の見つけ方などを加えて、少し長めに

---

<sup>1</sup> 角田さんより。「将来的には、古くなった望遠鏡を再利用するなどして、望遠鏡の仕組みがわかるような展示を作り、友の会や雨天時に利用できるようにしたい。スタッフと一緒にやる人いませんか?」

ほしづラボやメーリングリストに詳細が掲載されています。

・土星は輪っかについての説明

## 2. 8月2日（土）のほしざらウォッチングについて

8月2日（土）に予定されているほしざらウォッチングについて、打ち合わせを行いました。この日のリーダーは與古光さん、ライブ解説は小野田さんで、旧暦七夕の時期に関連する星を観望する予定です。今回のサロンでは、当日の空の確認と、何を観望対象とするかについて検討しました<sup>2</sup>。

7月5日（土）のウォッチングをふまえての内容となります。この日は5日とあまり変わらない空になると思われます。月齢は6.6で、高度は28度、惑星は少し暗めになりそうです。

当日の日没は19時18分。20時30分の段階で、まず、ベガは高度70度、アルタイルは高度45度あり、月・火星（0.4等）・土星（0.6等）が等間隔で並び、スピカとアンタレスも近い位置にあると想定されます。

プラネタリウム解説は、リーダーの與古光さんの希望をふまえて小野田さんが構成する予定で、今日の見どころや七夕のお話しを中心にするか検討中です<sup>3</sup>。

月→ベガ・アルタイル・アルビレオを観、余裕があれば土星や火星などの惑星も観たいのですが、火星は難しいかもしれないという意見も出ました。いずれにしても、7月5日（土）次第で今後内容を検討することになりそうです。また、望遠鏡の種類等は未定です。

夏休み期間中なので、多くの人が参加すると思われる所以、対策も考えなければなりません。

## 3. クリスマス時期の活動について

今年度のクリスマスではどのような活動を行うかについて検討を始めました。

### ①番組について

第1作目（2005年？プロキオンのお話し？）の番組の音声を再利用し、内容をリニュ

---

<sup>2</sup> 去年のこの時期は、土星・ベガ・アルタイル・アルビレオを観ました。

<sup>3</sup> 角田さんより。「過去のウォッチング実施記録を一覧にし、今後のウォッチングの参考にしていきたい。」

一アルして投影することを検討中です。現時点で、課題がいくつか挙がりました。

- ・出演したほしざらスタッフ全員の了承を得る必要がある
- ・ドライアイスを使用するか？
- ・使用機器もリニューアルすべきか？  
→ 流星投影機（?）の更新、雪の映像など…

## ②その他について

番組以外に何をするかということも、これから相談・検討していかなくてはなりません。予算は5-10万円でとってあり、クリスマス時期の子どもの来場者は2000人くらいの見込みです。

12月のこども向けの投影は、冬休み期間を含め17回あり、スタッフの回転をどうするかが大きな課題となりそうです。実施頻度についても検討しなければなりません。たとえば、スタッフが来られる日だけ行うとか、時期を限定するとか、サンタは登場させるのかなど…。

内容としては、紙芝居をする、サンタの代わりにプロキオンの着ぐるみを作る、子どもにプロキオンの缶バッジをプレゼントする（※大人の場合は販売？絵本とセット販売？）、がちゃがちゃをする、などの意見が挙がりました。特に、今回は以下の2つが具体的な案として出ました。

### ②-1. 缶バッジ

オリジナル缶バッジを1500個くらい用意する。費用は3万円くらいで済みそうだが、作るのが大変なので早めに準備をしてはどうかという意見が出ました。一度サロンでどのくらい生産可能かやってみるかもしれません。

### ②-2. プロキオンの原画展

プラネタリウム前の市民ギャラリーにて実施してはどうかとの意見が出ました。常駐監視員は不要で、単発で紙芝居をやるなどのイベントも今後検討する予定です。

次のサロンで内容を決定したいと思います。

#### 4. 今後の活動について

直近の活動について、現時点での課題は以下の通りです。

① 7月 19日（土） 友の会 「望遠鏡工作」  
使用する三脚について再検討したい → ケンコーが頼りないので

② 8月 1日（金） 出前講座 「日時計工作」 @エコロの森  
6月 28日（土）の「ほしざら友の会」で作った日時計よりも立体的にしてみたい

③ 8月 24日（日） 出張観望会 @ふれあいの森  
50人（or 50組？）が参加予定  
空が暗く、新月の予定で好条件だが、南に山があり、さそり座などは見えない／見えにくいかかもしれない

④ 今年度の合宿は、11月 22・23・24日の予定  
しし座流星群の名残の流星が観られる？

⑤ 10月 8日（水）の皆既月食  
平日なので、ウォッチングスケジュールに入ってはいないが、8月のウォッチングからPRしていきたい。ちなみに、9月 28日は土星食が起こる。

今回のサロンは、今後の活動について、さまざまな課題が挙がりましたので、一つずつ検討しクリアしていくたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

(以上)

次回のサロンは、7月26日（土）です。